

# 川口都市計画公園の変更（案）及び川口都市計画火葬場の決定（案）

## に関する地元説明会 議事要旨

日 時：平成23年9月18日（日）午後3：00～5：30

会 場：山王神社

出席者：川口市技監兼都市計画部部长・歴史自然公園事業等プロジェクトチーム（事務局）

参加者：30人

### 1 開会

事務局 先日、8月28日、30日に樹里安で開催させていただいた説明会の内容と同様の内容を説明させていただきたいと思っています。それでは、川口都市計画公園の変更（案）及び川口都市計画火葬場の決定（案）の地元説明会を開催します。

### 2 出席者紹介

### 3 川口市技監兼都市計画部長 挨拶

首都高の川口PAに隣接する本計画につきましては、昭和61年当時、廃棄物の最終処分場として計画がなされましたが、その後、各種のリサイクル法の整備や朝日環境センターの整備等を契機に、平成19年度より公園予定地として活用する方針に変更がなされました。昨年度、学識経験者、市議会議員の方々、地元の代表者の方々、関連団体の方々からなる検討委員会において、当地における自然、歴史・文化、社会・産業といった地域特性を踏まえた公園や火葬施設の提言がまとめられております。

本市といたしましては、住民の皆様のご意見を踏まえて、今年度都市計画決定がなされれば、その後順次、関係機関との協議、用地買収、具体的な施設的设计、整備を進めていきたいと考えております。この後、少々、お時間を頂きまして、パワーポイントにて都市計画案の内容についてご説明をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

### 4 都市計画（案）の説明

- ・川口都市計画公園の変更（案）
- ・川口都市計画火葬場の決定（案）

事務局　それでは、川口都市計画公園「(仮称)赤山歴史自然公園」、及び川口都市計画火葬場「(仮称)川口市火葬施設」についてご説明いたします。

はじめに、本日の説明会は、都市計画法第16条第1項による都市計画の案の内容に関する説明とさせていただきます。また、この都市計画公園と都市計画火葬場の計画については、それぞれの位置的関係や、事業上の関係から、併せて説明させていただきます。つきましては、30分程度、お時間をいただきますことをお許し下さい。なお、都市計画には、それぞれの施設の区域、名称を決定することとなりますことから、区域内に配置される具体的な施設の内容や構成等は、この都市計画決定後、基本設計、実施設計等の段階で検討していくこととなりますのでご了承ください。

それでは、計画地の位置と概要についてご説明させていただきます。計画地については、この図にありますように川口ジャンクションの東側で、北側の東京外かく環状道路、南側の首都高速葛飾川口線に挟まれた区域であり、首都高速葛飾川口線の川口パーキングエリアに隣接した、約10.9haを計画区域としております。公園と火葬施設の内訳としましては、公園区域が、約8.9ha、火葬施設の区域が、約2.0haとなります。

本計画地は、昭和61年当時、市内環境センター等から排出される、廃棄物の最終処分場として予定されていた、約4.5haの計画区域を含んだものとなっております。この最終処分場の計画を進めるための公有地化により、現在、市では、当該用地として、約2.2ha 保有しているところでございます。その後、平成14年度に、リサイクル法の整備に伴い、分別収集の進展による焼却処理対象量の減少や、朝日環境センターにおけるガス化溶融炉施設等の整備により、焼却残渣を大幅に縮減することが可能になり、平成19年度より、公園等予定地として活用する方針に変更されたところであります。

続きまして、この地の土地利用を図るための、検討状況についてご説明いたします。公園等予定地として具体的に検討を進めるにあたり、昨年、「(仮称)赤山歴史自然公園等検討委員会」を設置いたしました。この委員会は、神根・赤山地域の豊かな自然環境や、歴史・文化遺産を活用し、地域振興や農業の活性化に有効な公園計画、及び広域的な利用促進策や市民要望施設等の立地について検討する場であり、公園等の構想、ご意見、ご要望、配慮事項等が、「行政に対する提言」という形でまとめられました。検討委員のメンバーは、農業、都市計画、生物・植物の専門家、さらに、市内の農業関係団体、経済関係団体、緑化関係団体、造園関係団体、医療関係団体の方々、赤山中央町会、赤山第1町会、赤山第3町会、新井宿町会、石神下区町会の町会長さん、さらには、各会派の市議会議員の方々から構成されておりました。委員会は、5回にわたり開催され、多岐にわたるご意見をいただいたところでございます。市では、こ

の提言を基本的な骨格として受け止め、関係機関との調整を経て、タタキ台をまとめ、今回の計画案を皆様にお示しする次第となりました。

それでは、公園等の基本的方向、計画のテーマについてご説明いたします。はじめに、立地特性として、この地の「自然」についてです。この地には、樹林地や水辺、湿地がまとまって存在し、地域の多様な生物の生息空間を形成していること。また、市街化調整区域であるこの地には、周辺の庭木等を含む圃場や、畑等が広がる緑豊かな地域が展開していること。さらには、首都圏近郊緑地保全区域として、川口市はもとより首都圏における重要な緑の拠点としても、上位計画に位置付けられており、本市における貴重な自然資源の存在は、公園の計画テーマとして外せない要件となっております。第二に、「歴史・文化」です。江戸時代以降、この地は、幕府直轄領となり、灌漑治水による農業の発展、江戸への、植木や草花の供給が図られました。また、関連して、関東郡代・伊奈家の赤山城跡や日光御成街道等、歴史・文化資源に隣接していることについても計画テーマの念頭においております。第三には、「社会・産業」であります。計画地を含む安行・神根地域は、植木、枝もの等の発祥の地であり、現在でも、植木、造園などの緑化産業が、数多く行なわれております。一方、当地区は、東京外かく環状道路や首都高速葛飾川口線に隣接するなど、首都圏からの自動車アクセスの利便性が高い地域となっております。こうした状況を踏まえ、当地区における「持続可能な緑地、自然環境の保全」に係る負担が、農業従事者や土地所有者のみにかかることのないよう、広域的な集客による地域振興についても、念頭においております。

この考えのもと、本計画の基本テーマを「広域的な集客性に配慮した『水と緑のオアシス空間』の創出」といたしました。具体的には、「豊かな生態系をイメージとした公園づくりを支える良好な樹林地と水辺空間の創出」、「古くから継承されている、地域の産業・文化の再構築の先導的な役割と地域の活性化」、「豊かな水と緑や、歴史性と調和した市民の様々な社会的ニーズへの対応」を目指してまいります。

次に、公園等のゾーン計画についてご説明いたします。まずは、この図にあります、計画地北側の区域です。ここを、自然体験ゾーンとして検討を進めております。ここは、地域らしい、自然とのふれあい体験を可能とするような、まとまった水面や、湿地、樹林地で構成する区域とし、多様な生物の生息空間の保全・育成により、家族連れや自然志向型のグループ・団体等の皆様が、自然観察や自然体験等を楽しんでいただけるような、憩いの空間形成を考えております。続いて、計画地北東では、歴史探索ゾーンを検討しております。この歴史探索ゾーンは、赤山城跡に代表される、地域固有の歴史・文化や、見沼に関連する、近隣の自然環境等について、様々な形で情報発信するとともに、近

接する赤山城跡など、歴史的な空間へと誘導する、案内板やサインにより、「歴史・自然」をテーマとした、地域づくりや景観づくりに寄与する公園機能を整えたいと考えております。続いて、この図にあります、西側に位置する区域は、地域振興のゾーンを検討しております。広域的な利用形態に配慮して、環境と共生した地場産業が提供する、豊かさと楽しさを体感していただける場として考えております。さらには、広域的な交流機会を促進するために、地域の案内情報や、特産品等の紹介を行なうとともに、良好な環境を形成する、周辺の散策ルートの拠点機能を併せ持つゾーンと考えております。続いて、計画地東側は、赤山オアシスゾーンといたしまして、現在の川口パークイングの北側に、首都高速葛飾川口線を降りずに、公園や周辺施設を利用できる駐車場や休憩施設を整備することにより、市外からも誘客し、公園内外に導くことで、地域活性化のきっかけづくりを考えており、今後、関係事業者と協議してまいりたいと考えております。最後に、南側に位置する区域を火葬施設ゾーンとしております。火葬施設については、平成13年に、14万人を超える市民から提出された、「火葬場の早期建設を求める請願」が、市議会においても全会一致で採択されており、検討委員会においても、この豊かな自然環境を活かし、市民ニーズに応えていくことが重要ではないか、という提言をいただいたところであります。

ここまでのゾーニングのなかで、自然体験ゾーン、歴史探索ゾーン、地域振興ゾーン、赤山オアシスゾーンを公園の区域とし、火葬施設ゾーンを火葬施設の区域として都市計画に位置付けます。

公園、並びに火葬施設に対する自動車アクセスは、周辺道路については、通学路に指定されていることや、周辺住民の皆様の生活道路であることから、新たな交通を生まないよう配慮し、南側の県道足立川口線及び首都高速葛飾川口線からのみの進入を検討しております。なお、公園周囲につきましては、周辺の方々がお越しになるために、徒歩や自転車での来園を可能とするような、アクセスポイントを検討して参りたいと考えております。

それでは、川口都市計画公園、川口都市計画火葬場として都市計画に定める、それぞれの事項についてご説明いたします。

はじめに、(仮称)赤山歴史自然公園ですが、川口都市計画公園に「(仮称)赤山歴史自然公園」を追加する変更を行ないます。都市計画決定名称は、(仮称)赤山歴史自然公園、所在地川口市大字赤山ほか、公園面積約8.9haといたします。現在、川口市内にある都市計画決定された公園は、その周辺の方々を利用する「街区公園」として141公園、さらに、街区公園以上に広い区域の方々を利用する「近隣公園」として20公園、川口市グリーンセンターや青木町平和公園、川口自然公園など、市内外の方々も利用することができる大規模

な公園が、4公園設置されております。この「(仮称)赤山歴史自然公園」は、面積が約8.9haと広大で、近隣住民の休息はもちろん、自然体験や歴史探索など、広域的な集客性にも配慮した公園とすることから、総合公園として、位置付けます。

本公園計画の上位計画についてご説明いたします。まず、本市の市政運営の基本である、第4次川口市総合計画において、市民一人あたりの公園緑地面積を10平方メートル以上とすることを目標としているところでございます。しかし、現状では3.58平方メートルであることから、当該公園を都市計画に位置付けることで、公園緑地面積の拡大を、推進するものであります。また、本市の都市計画基本方針には、『市内各所に存在する、自然的資源、歴史的資源を生かし、水と緑の環境の中でスポーツ、散策、休養、文化等の多様な活動が楽しめる「水と緑のレクリエーション拠点」を配置する』こと、さらに、「緑化産業活動の維持促進を支えるための、土地利用上の保全施策を図るとともに、赤山城跡をはじめ、点在する寺社等の歴史文化をきわだたせる、シンボリックな緑地空間の保全と整備を図る」とあることから、これらの目標・方針に沿って計画したものであります。

周辺地域は、現在、相続等による農地の転用などにより、緑地が失われつつある状況であり、この区域を公園として、都市計画に定めることで、恒久的な施設として法的に担保することが重要であると考えております。

公園の施設構成といたしましては、大池(開放水面)、地域物産館、歴史自然資料館、ドッグラン、ハイウェイオアシス、来園者駐車場としております。この大池は、計画のテーマである「水」を活かすもので、この地の地形や湿性環境を活かし、水辺空間を創出することにより、自然環境に触れ合える場とするものです。また、この地区や下流部にもたらす水害を軽減するための、調節池の機能を併せ持つ構造を検討しております。次に、地域物産館、

歴史自然資料館につきましては、地元の産業である植木や枝もののPR、本地域の歴史や自然の紹介、公園内の豊かな自然環境を観察するための拠点として、検討しているものです。また、このドッグランにつきましては、昨今のペット事情を踏まえ、リピーターの確保などの観点から検討しているものです。次にこのハイウェイオアシスです。ハイウェイオアシスは、現在の川口パークキングの北側に、首都高速葛飾川口線を降りずに、公園や周辺施設を利用できる駐車場や、休憩施設を整備することにより、市外からも誘客し、公園内外に導くことで、地域活性化のきっかけづくりを考えており、今後、関係事業者と協議してまいりたいと考えております。また、川口パークキングは、総務省消防庁において首都直下地震等の大規模地震災害における、緊急消防援助隊の進出拠点として位置付けられており、このパークキングを拡大することで、大規模地震

災害等における、広域防災拠点機能の強化にも繋がってくるものと考えております。最後に、一般道からの来園者駐車場ですが、計画区域の南側の県道足立川口線からのアクセスとし、公園規模に応じた適切な駐車台数を確保したいと考えております。以上が、(仮称)赤山歴史自然公園の計画概要であります。

続きまして、川口都市計画火葬場についてご説明いたします。川口都市計画に、都市計画施設として「川口都市計画火葬場」を決定するものです。

都市計画決定名称は(仮称)川口市火葬施設、所在地川口市大字新井宿ほか、計画面積 約2.0haといたします。

皆様ご存じのとおり、川口市は、諸手続きを経て、10月11日に、鳩ヶ谷市と合併することが決定しております。現在、川口市の人口は、約51万7千人ですが、鳩ヶ谷市との合併により、58万人に迫る人口規模の市となります。こうした市勢状況のなか、本市では過去にも火葬場の検討が、なされてきましたが、いずれも具体的な構想には至りませんでした。

火葬施設については、本市の市政運営の基本である、第4次川口市総合計画において、「斎場整備の推進」などが位置付けされており、市民が安心して、平等に、人間の尊厳を保ち得る、福祉の最終形態である斎場の整備は、衛生環境の向上、及び公共の福祉のために、必要不可欠な都市施設であると考えております。現在は、主に近隣1区3市の火葬場に頼っている状況であり、1週間から10日以上も、火葬を待たなければならない状況が発生しているといった報道もなされております。平成13年にいただいた、14万人を超える市民からの、火葬場の早期建設を求める請願書が、市議会で全会一致で採択されるなど、市民の要望する施設の上位であり、火葬施設の整備が緊急の課題となっていることから、新たに決定していきたいと考えるものです。

施設の必要性に続き、「建設地の選定」、「計画規模」、「環境」を順次ご説明いたします。はじめに、の「建設地の選定」ですが、この地を選定した理由については、大きく以下の2点でございます。第一に、『周辺環境を活かした景観的配慮ができること』。この地に火葬施設を計画することで得られる、最大のメリットとしては、公園と同時一体的に整備ができること。と考えております。検討委員会でも「豊かな自然環境を活かし、大池の開放水面と連続する水辺に佇み、建築意匠や公園と景観的に一体となった緩衝樹林等によって静的空間を確保する」との提言をいただいております。こうした、配慮点を十分に理解した上で、公園との調和を図り、さらに研究を進め、計画を具体化して参りたいと考えております。第二に、『幹線道路である県道足立川口線からの出入庫が可能であること』。これにより、火葬施設へのスムーズな出入りが確保されるとともに、近隣住民の皆様の生活道路に、常に霊柩車が通過するような状況は、避けることができると考えております。次に、の「計画規模」です。今後の

総人口と死亡者数の推移に関する検討では、川口市と鳩ヶ谷市をあわせた、現在の年間死亡者数は、約4,200人ですが、2045年には、約7,900人と算出されております。こうした死亡者数の推計と、人口の推移を踏まえ、適正な施設規模を検討してまいります。また、現在、本市には40を超える祭事場が存在し、お寺等においても催事が可能なことから、この施設は、火葬専用の施設といたします。なお、施設構成につきましては、火葬区域の計画決定がなされたのち、基本設計・実施設計等の段階で検討してまいりたいと考えております。参考であります。平成18年に完成した、周辺の自然や地形と融合した火葬施設をご紹介します。岐阜県の各務原市の市営斎場(瞑想の森)です。高い煙突をもつ、昔ながらの火葬場のイメージは払拭され、現代建築においては、瀟洒な火葬場として、大きく変わってきている現状であります。火葬場は人間にとっての「終の空間」であり、川口市に生まれ、暮らし、歴史的にも由緒ある当地において、近親者が心ゆくまでの弔いができるよう、施設設計を検討して参りたいと考えております。次に「環境」についてご説明いたします。火葬施設からの排気については、厚生労働省から「火葬場から排出されるダイオキシン類削減対策指針」が示されております。この指針によると、ダイオキシン類濃度の指針値は、 $1 \text{ ng}(-\text{TEQ}/\text{Nm}^3)$  となっております。本市としては、厚生労働省の排出基準値をみたく、炉を、選定して参りたいと考えております。以上が、(仮称)川口市火葬施設の説明となります。

続きまして、公園及び火葬施設に共通した、生物等の調査についてご説明いたします。現在の環境を、できる限り維持保全することを目的に、公園並びに火葬施設周辺地域を対象として、昨年5月から生物調査を実施しております。この調査では、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類等の動物と、植物を調査いたしました。調査は今年秋まで継続いたしますが、現段階で発見された動物の重要種は、哺乳類でホンダヌキ1種、鳥類・猛禽類で、オオタカ、ハイトカ、ホウジロなど13種、爬虫類でニホンヤモリなど2種、植物につきましては、湿性植物を中心に9種の重要種が確認されております。今回の公園計画では、こうした豊かな自然環境をできる限り維持し、他の自治体の事業で行なわれた、植物の移植工法等の事例を参考に、将来にわたっての保全に努めて参りたいと考えております。

最後になりますが、都市計画決定後の区域内の土地・建物の制限と、今後の進め方についてご説明いたします。本計画区域は、市街化調整区域であるため、建築行為等を行なう場合は、開発許可を受ける必要があります。さらに、公園、火葬施設、ともに都市計画施設となりますので、具体的な事業に入るまでに、建築行為を行なう場合、都市計画法第53条による許可を得る必要もあります。

また、補償内容に関するご質問や、契約時期等に関するご相談ご要望等は、

資料の裏面に記載されている、問い合わせ先までご連絡をいただきたいと存じます。なお、個人の財産などプライバシーを含む内容となることから、個別に対応させていただくこととなりますのでご了承下さい。

最後に、今後の進め方についてご説明いたします。今回、地元の皆様を対象に説明会を開催させていただきました。今後は、ここで頂きましたご意見を出来る限り反映した計画案を作成し、11月には、地元以外の方々も含めて、公聴会にてご意見を伺い、最終(案)を作成いたします。その後、改めて、1月に、最終(案)を住民の皆様にお示しし、「意見書」を提出する機会を設けさせて頂く予定です。これらの住民の皆様のご意見を踏まえ、都市計画審議会を経て、決定告示という流れとなります。なお、手続きにつきましては、広報かわぐち、及び市ホームページにてお知らせするとともに、今回の説明会同様、関係地権者の皆様にはダイレクトメール、周辺町会の皆様には町会回覧でも併せてお知らせしてまいりたいと考えております。

以上で川口都市計画公園(仮称)赤山歴史自然公園と川口都市計画火葬場(仮称)川口市火葬施設の説明を終わります。

## 5 質疑応答

赤山第1町会より参加 匿名

現状で、ロープを張ってポールを立てておりますが、あれはボーリングの跡地でしょうか。

事務局

測量するにあたって、ポイントとなる点を何点か定めており、それが草等に埋もれて分からなくならないようにロープを張らせていただいている状況になります。ボーリングの跡ということではありません。

赤山第1町会より参加 匿名

ボーリングを行っていますよね。第5回の検討会ではボーリングのことについて、6点ですか、しているとのことですが、それは火葬場ができるという前提でやっているのか。

川口市技監兼都市計画部長

ボーリングを既に実施しているのではないかとご質問だと思います。それにつきましては、先程、説明させていただきましたとおり、現在はボーリングの調査はしてございません。今年度、都市計画決定をいただきましたら、来年度、そういった調



査を含めてやっていきたいということでございます。この段階で、現地に入らせていただいている内容について説明させていただきますと、先程の生物の調査、これについては計画を進めていく上での前提というふうに考えてございますので、昨年から生物調査を始めさせていただいて、今年度の秋まで生物調査をしたいと考えてございます。これにつきましては、地元の地権者の方々には、場合によっては地権者の土地を跨いで入っていかねばならないこともございますので、その段階で説明させていただいているところでございます。

赤山第1町会より参加 匿名

第5回の検討委員会では、平成元年にボーリングを6点やっているということで、説明している。6点のボーリングをしている訳ですから、当然、火葬場ができるというのを想定して、その時にやっていたのかと思うのですが、その点はどうですか。

川口市技監兼都市計画部長

平成元年にやったボーリングは何なのかというご質問だと思いますが、平成元年にボーリング調査を行ったのは、今回の計画の大分前の話でございまして、その頃は、廃棄物最終処分場の計画があったことから、そのための調査の一環として行われたものと推測されます。

今回の火葬施設につきましては、建築物を支えられる地盤かどうか、改めて調査をしなければならぬと思っております。ただ、昨年の検討会の中でも議論がありましたが、技術的に本当に可能なのかということに対しては、隣に首都高さんのピアが、柱脚が立っておりますので、ああいったものが支えられるといった地盤ですので、技術的には可能ではないかと考えてございます。

赤山第1町会より参加 匿名

まず、今回の説明会もそうですが、この資料を見た時に、基本的には赤山歴史自然公園ありきの火葬場という計画だと思うのですが、段階で考えた時に、まず、説明会のほとんどの時間を火葬場ではなく自然公園、また地域の都合の良いような、おいしい形での説明をしているように感じるのですが、この計画の中に、歴史公園ということで入った時に、そんなに反対する方はいないと思うのですが、なぜ、火葬場を下に持っているのか。火葬場を外した場合、赤山自然公園は成り立つのか。まず、その場合であれば、役所としては火葬場が作りたいためであろうから、まずお願いから入るべきではないか。まるで、一体化して、自然公園作ってやるから、火葬場もというのはおかしい。その辺をちゃんとやってほしい。

川口市技監兼都市計画部長

只今のご質問は、火葬施設ありきの公園計画ではないかということだと思います。火葬施設を作るのであれば、火葬施設を作るということを正直に出して、まずはお願いに来るべきだといったご意見だったかと思います。

市といたしましては、公園も火葬施設についても、どちらも、今回、この時期にやらなければならない、都市計画決定を行ってやっていかなければならない施設であると考えてございます。公園については、なぜこの時期にこれだけのものを作らなければならないのかと申しますと、先程もパワーポイントで説明させていただきましたとおり、広域的な集客を確保して、この地域の農業の振興、この地域の活性化を、この時期を逃してはできないのではないかと強い思いがあります。皆様、地元で植木に係わっている方が多いと認識しておりますが、これまでは、首都圏の方々にとっても重要な緑との位置付けもあるにもかかわらず、地元の農業従事者の方々や土地所有者の方々に緑の保全をお任せしてきてしまったということがございまして、結果、十分に保全されてきているのであれば、それを継続していただくということで良かったのかもしれませんが、残念ながら、昨今の状況を見ますと、墓地になってしまったり、残土置き場になってしまったりと、私が歩いていてもそういった状況が散見される状況になってございます。

赤山第1町会より参加 匿名

その状態は、公園になると変わるのですか。

川口市技監兼都市計画部長

今回、公園の基本的なテーマとして、「広域的な集客性に配慮した」と、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山第1町会より参加 匿名

抽象的な文言ではなくて、地元ということでご説明いただいているので、地元に対しての公益なもの、他所から持ってきたもの、実際的には必要なものかもしれないけれども、自分の家の横にあったら、絶対に困るものだし、それは当然領家の場合もそうだったろうし、今までの経緯もきっとあると思います。ちょっと違うと思う。

川口市技監兼都市計画部長

ご意見がかみ合わないところがあるとは思いますが、まず市の考え方を説明させていただきます。市の考え方としては、地域の活性化、地域の振興を図るために、どうしても必要になってくるのが、人が訪れるような環境を、そういったきっかけを作ってあげることがまず一番のことではないかと考えてございまして、この地を見た時に、

現在、首都高のパーキングには年間100万人を超えるような方々が来られている状況がある訳です。こういったチャンスに逃すのはもったいないのではないかと、市としては考えておりました。年間100万人来られる方々の少しでも、公園と繋いで、さらに公園から地域に出でいけるような仕掛けを作って、先だって、8月末の説明会でもご説明いたしました。地域の方に歩いていただくにあたっては、地域の方々からも、できればオープンガーデンのような取組みを、昨年来の取組みを継続的に行っていただいて、そういった中で、一度、首都圏から訪れた方々がこの地はこういう取組みを行っている良いところだな、もう一回来ようということになってくれば、状況が変わってくるのではないかと。本市としては、地域の方々には全部お任せするのではなく、この計画が実行段階に行くにあたっては、赤山・神根という地区にはグリーンセンターであったり、緑化センターであったり、首都圏の方にとっても魅力的な施設が多々ありますので、一度公園に訪れた方々を、シャトルバスのようなもので結んで、回遊性を持たせて、地域全体に波及させていきたいと、これが公園について市の方で計画している内容でございます。

2点目の火葬施設についても、市としては非常に重要な施設と考えてございまして、なぜ、それが必要な施設かと申しますと、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山第1町会より参加 匿名

分かります、それは皆さん分かっていると思います。何故、そこに火葬場を作らなくてはいけないのか、それが公園で、ごく一部、地権者の方々には地上げ交渉なり、移転なり、相当な内容で出ていると思うのですが。そういう、個別の、外固めをしてから、この地区の、近隣の方々に、こういった形で説明だけをして、そのままスルーすれば、都市計画の変更なり、それは絶対おかしいです。実際、していないのですか、市で。個別の、地権者の方々に色々な形でのお話だとか、基本的に計画段階でここまでの、場所まで指定して。これが計画なのですか。

川口市技監兼都市計画部長

只今のご質問は、地権者の方々に先に色々な説明をしているのではないかと、その説明をした後で、この地元説明会を開いているのではないかと、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山第1町会より参加 匿名

もうちょっと、深いところ。例えば、地上げに対する交渉事項とか、住宅を移転したらどこに移りますよとか、そういった下話まで、大分出ている訳でしょ。

川口市技監兼都市計画部長

地権者の方々とやり取りの状況ということだと思いますが、今回、こういった計画を策定するにあたって、家屋の移転が伴う方々が、この計画区域には数名いらっしゃいます。そういった方々には、事前にきちんと説明させていただいて、進めていかなければならないと考えておりましたので、生物の調査で地元に入らせていただくときに、家屋の移転を伴うような方々に対しては、丁寧にご説明させていただいております。

赤山第1町会より参加 匿名

実際に、中に5軒か6軒いるでしょ。その中の人からもはっきり聞いている。新井宿の方に代替地があって、今の土地の1.5倍確保して、後は判を押すだけに決まっていると聞いている、耳に入っている。そこまで、決まってやっついて、なんで今さらこういう説明なのか。

川口市技監兼都市計画部長

今のご質問は、地域内のある地権者の方の移転先についても既に決まっているのではないかという趣旨のご質問だと思いますが、その点については、当然ですがまだ決まっておりません。

赤山第1町会より参加 匿名

当人が言っているのだから、間違いじゃない。

川口市技監兼都市計画部長

その方がどのようにおっしゃっているのか、我々には分かりませんが。

赤山中央町会より参加 匿名

質問を挟みますが、それは自然公園を作るので移転してくださいと説明しましたか。それとも、火葬場を作るので移転してくださいと言いましたか。どちらですか。

川口市技監兼都市計画部長

説明にあたっては、今回の説明と同じように両方について説明しております。

赤山中央町会より参加 匿名

どちらですか。非常に大事なところですよ。火葬施設の場合には、東京都にも出ていのように住居から250mとか、一つの数字が出ていますよね。それを排除するために、出て行けと言ったのですか。どちらなんですか。

川口市技監兼都市計画部長

只今のご質問は、地権者に説明するにあたり、公園ということで説明をしたのか、火葬施設ということで説明したのかということですが、赤山歴史自然公園等ということで、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

等じゃ駄目なんだよ。どっちなんだよ。

川口市技監兼都市計画部長

等の中には火葬施設も含んでございまして、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

じゃ、火葬施設をやるよって言うことは言ってあるんだね。

川口市技監兼都市計画部長

地権者の方々には、公園、さらには公園の中には、今回、広域的な集客ということもありましたので、ハイウェイオアシスという聞きなれない言葉もありましたので、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

ハイウェイオアシスは川口市でやるものじゃないでしょ。

川口市技監兼都市計画部長

ハイウェイオアシスという聞きなれない施設もあることから、ハイウェイオアシスについてもご説明させていただきましたし、また火葬施設につきましては、先程、紹介させていただきました各務原市の写真もお見せし、火葬施設と言っても従来型の火葬施設ではなく、こういったものを作っていきたいとご説明させていただいております。

赤山中央町会より参加 匿名

先程から、だぶるかもしれませんが、赤山歴史自然公園、これありきで、下はNOだと言ったらどうですか。

川口市技監兼都市計画部長

今のご質問は、公園だけ作って、火葬施設はなしだと言ったときに、公園だけを作る可能性はあるのかということだと思います。これについては、私の一存では回答で

きません。なぜかと言いますと、申し上げるまでもないかもしれませんが、市の財政状況は非常に厳しい状況でございます。現在、本市では、2,500億円ほどの借入金を抱えながら、事業を選択しながらやっている状況です。一例で申し上げますと、我々都市計画部においては公園の整備を行っておりますが、通常であれば土地区画整理事業で公園用地が空けば、その公園用地に対してすぐに整備するというのが、当然、住民の方々とのやり取りの中では、当たり前だと思うのですが、そういった整備すらなかなかできないくらいに市の財政状況は逼迫しております。そういった逼迫した財政状況の中でも、この赤山の地に、これだけ大規模な公園を作るということは、果たして火葬施設なしに市議会に認めていただけるかどうかということについては、正直申し上げて難しいのではないかと考えております。

#### 赤山中央町会より参加 匿名

市議会についてですが、我々住民は、先ほども説明のありました、こういう非常時に備えて、特にこれから何十年後かには、あるいは明日、大きな地震災害が起きるかもしれない。その中で赤山歴史公園を作って、国の補助を使えば、大きな資金が出てきますので、それでその次はどうしましょう、火葬場については人のいないところ、いくらでもありますよ。東内野だって人はいないじゃない。山の中じゃない。そういう形も考えて、まず歴史自然公園は大賛成です。おそらく、ここに集まる方の80%以上の方は賛成であろうと予測します。しかし、その下の文字はNOです。おそらく、皆さん、ここまで出ていると思います。そういうことも配慮して、やはり市会議員、有識者も結構だけれども、まず地元の方の意見を徹底的に吸い上げて、それから踏み出す。さっき匿名さんもお話したとおり、ありきで進めてきてどうだと、我々はそう思います。

#### 川口市技監兼都市計画部長

最終的にご納得いただけるのところまで、本日、説明が尽くせるかということについては分かりませんが、できる限り市の考えをお伝えしたいと考えております。

先ほど、8月末の地元説明会について、なぜ、緑化センターの方で計画して、地元の町会のこういった場所で計画しなかったのかというご指摘がありましたけれども、8月末の説明会は、地元の地権者の方々と地元の5町会の方々にご案内させていただいており、その範囲が非常に広がったので、場合によっては、1回あたり150名を超すような方々が来られてもおかしくないと考えたので、緑化センターの会議室をお借りして、広い会場を用意しました。その説明会において、そこに来られなかった方もいるので、もっと地元の方で説明を聞きたいというご意見があったので、今回、ご依頼をいただいて、この説明会の開催となったということでございます。

地元の方々のご意見をもっと吸い上げて進めていくべきではないかというご指摘だ

と思いますが、当然、今回このようにやり取りをさせていただいたことについて、きちんと担当部局として取りまとめ、市長にも報告させていただきます。皆様のご意見を踏まえつつ、ただし、本市の思いとしては、火葬施設についても、公園についても、今の時期を逃すと大変なことになってしまうのではないかと認識がございますので、そういったことも踏まえながら検討していかなければならないと考えてございます。

地元の方々の意見を聞く場がないじゃないかというご指摘でございますが、今後も、もし、こういった形で皆さん集まっていたいて、説明させていただける機会を設けさせていただけるということであれば、もちろん、説明させていただきますし、今後、先程ご説明させていただきましたように都市計画手続きといたしましても、まずは、こうして地元の方々とやり取りをさせていただいておりますけれども、公園についても大規模な公園ですし、火葬施設についても利用者はこの地域だけじゃなく、市域全体ということになりますので、そういった方々のご意見、その中には、この地にこれだけの税金を投入するのはおかしいじゃないか、私の住む地域にもっと税金を投入して欲しいというご意見もあるかもしれませんが、そういった方々のご意見も踏まえて、最終的に都市計画審議会というところ、都市計画の専門家の方々に、この都市計画が良い計画なのか、おかしい計画なのかというのを判断していただいて、それを市に返していただいたうえで、最終的に本市として判断するという手続きになりますので、もうすでに決まった内容を後から出してきて、説明して終わりということではないということは、重々ご理解いただければと思います。

赤山中央町会より参加 匿名

愚問かもしれませんが、今までに川口市で火葬施設という形で意見、会議に持ち込んだのは何回目になりますか。ちなみに教えてください。何十回ですか。

川口市技監兼都市計画部長

正確に何回というのは分かりませんが、私の方で把握しているのは、平成13年、今から約10年前に南平地区の領家というところで、一度、こういった火葬施設を建設しようという話が持ち上がったことがございます。

赤山第1町会より参加 匿名

前にもちょっと質問したのですが、安行近郊緑地保全区域の趣旨と川口都市計画基本方針の趣旨が、こういうような火葬場を持ってきたり、公園の中にハイウェイオアシスとかドッグランを持ってくるというのは、趣旨が外れている。それから、ハイウェイオアシス、ドッグランっていうのは守谷SAにあるのですか。

川口市技監兼都市計画部長

守谷SAにもあります。他の高速道路のSAにもあります。

赤山第1町会より参加 匿名

その周りの住民の意見を全部把握して、こういうような計画をしている訳ですか。やはり、周りの住民が非常に迷惑していると聞いています。それから、川口PAで、物産館とか即売所とか、売るとある内容があるのですが、川口PAでも農務課で即売とかやっているんですね。やっけて全然売れない。100万人来ても全然売れないというようなことがあって辞めている訳ですね。そういうことも調査して、こういう計画が入っているのか。それともコンサルタントが計画したものをそのまま、検討会に入ったのかどうか。そういうようなことも聞きたいと思います。

川口市技監兼都市計画部長

大きく、3点だったと思います。まず1点目は、ハイウェイオアシス、ドッグランといった施設と、安行近郊緑地保全区域ということがマッチしないのではないかと。2点目が、守谷SAでのドッグランについては、周辺の方々が迷惑していると聞いているが、それについてどうなのかということ。3点目が、現在の川口PAにおいて、即売をしても売れなかったという状況があるが、コンサルが描いた絵をそのまま持ってきて、それを説明しているのではないかと、これが3点目だと思います。

まず、1点目のハイウェイオアシス、ドッグランと安行近郊緑地保全区域との関係ですが、おっしゃるとおり、緑地を保全する区域であるにも係わらず、今回、8.9haの中の一部の緑地については、はっきり言いまして潰すことになってしまうと思います。潰すと言っても、緑地・公園にするということですから、ただ単に潰すということではありませんが、せつかくある農地、生産緑地を潰してしまうということになってしまいます。なぜ、そういったことにも係わらず、大切な農地を潰してまで、ハイウェイオアシスなり、ドッグランを作るのかということなのですが、これはコンサルがどうのこうのということではなく、市としての考えですが、今回、こういった公園の計画を作って、地域の農業の活性化、地域の振興に向けて、何らかの手を打たないと、周辺の状況から察すると、なかなか、今の緑地の状態を維持することすら難しい状況が今後出てきてしまうのではないかと考えてございます。周辺の地域では墓地になってしまっていたり、残土置き場になってしまっていたりという状況が見受けられますが、もともと安行近郊緑地保全区域が理想とするところとは、残念ながらかけ離れてしまっていると感じておりまして、この状況をどこかで手を打って、少しでも緑地の保全ということについて、農業従事者の方だけとか、土地所有者の方々だけに負わせるのではなく、何らかの、市としてもきっかけ作りをしなければいけないのではないかとこの思いが、今回の公園計画の発端にあります。(注：回答途中で質問者が発言)



赤山第1町会より参加 匿名

公園づくりについて反対している訳ではありません。その内容がね。

川口市技監兼都市計画部長

もう少しお聞きいただけますか。なぜ、公園の中でハイウェイオアシスなり、ドッグランを作らなければいけないかということだと思いますが、まずハイウェイオアシスとは何かと申しますと、通常は高速道路を降りないと、公園に来ることができませんが、今回のハイウェイオアシスということが実現すれば、高速道路を降りずに、PAに来た方々が直接、車をそこに停めたまま、公園の中に、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山第1町会より参加 匿名

内容については、分かっています。ただね、安行近郊緑地保全区域の、川口都市計画の基本方針の趣旨と全然マッチしないので。

川口市技監兼都市計画部長

本市の考えとしては、広域的な集客を図ることによって、持続可能な緑地の保全ができる、ひいては安行近郊緑地保全区域の思想にも合致することになると、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山第1町会より参加 匿名

だから、こういう施設じゃなくて、普通の形態の公園でも良いと思うんです。

川口市技監兼都市計画部長

普通の形態の公園では、残念ながら、首都高さんの100万人なりの方々が直接公園を利用する機会を逃すことになってしまいますので、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山第1町会より参加 匿名

それで良いのではないですか。

川口市技監兼都市計画部長

それで良いということであれば、市の計画している内容とは相容れないということだと思います。本市としては、せっかく、首都高のPAに来ていただいている100万人なりの方々がいらっしゃるので、その方々がちょっと足を伸ばせば、直接利用できるようなそういう仕掛けを作ることが、ベストではないかと考えて計画したもので、

別にコンサルがどうのこうのではなく、市の考えとして計画させていただいております。これが1点目でございます。

2点目の守谷SAにドッグランがあるということで、周りの方々が迷惑するということについては、済みませんが、周りの方々がどれだけ迷惑をしているのかということについては調査不足です。そこまでは把握してございません。ただ、守谷のSAのみならず、高速道路のSAにつきましては、市原SAや佐野SAにもあったと思いませんし、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

あるからじゃなくて、迷惑しているよと、迷惑させられては困るよということを言っているんだ。

川口市技監兼都市計画部長

各地の高速道路のSAにもドッグランがあって、一定の集客が図られているということですので、我々としては少しでも広域的な集客を、少ない費用で実現する仕掛けとして考えているところであります。周辺の方々のご迷惑ということに関しては、きちんとした管理をやっていかなければいけないと考えており、ドッグランは高速道路のSAだけでなく、色々なところにありますので、そういった施設の管理運営の状況をきちんと勉強して、対応していきたいと思っております。

赤山第1町会より参加 匿名

地域には、全然メリットがございませんよね、地域にとって。

赤山中央町会より参加 匿名

迷惑なだけだよ。

川口市技監兼都市計画部長

広域的な利用、さらにはリピーターの確保を図るのがドッグランを計画している最大のポイントでございます。これは地域の方々にとっても、そういった方々が、何度も何度も訪れることが実現すれば、地域の活性化に、農業の振興にも繋がっていくのではないかと、本市としては考えています。ここは相容れないところかもしれませんが、本市の思いとしては、そういう思いです。

赤山中央町会より参加 匿名

机上の計算だもん。

川口市技監兼都市計画部長

3点目につきましては、川口PAについて、十分な調査もせず、コンサルに言われたものをそのまま持ってきたのではないかと、簡単に言うとそういうことかと思いますが、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山第1町会より参加 匿名

直売とかそういうのをやったことがあるんですよ。それを辞めた経緯があって、100万人の利用があるからといって、それをね、そこにこういうような施設を作って入ってくれるかどうかね、それが疑問なんです。ほとんど、このPAは食事だと思うので。

川口市技監兼都市計画部長

それについては、過去にそういった取組みをされて、上手くいかなかった原因分析まではやっておりませんが、緑化センターの隣の農作物の直売所については、かなり人が入っていて、上手く回っているのではないかと考えており、公園の中にそういった施設を設ければ、人々が来ていただけるような施設の運営が可能ではないかというように考えて、こういった計画とさせていただいております。

赤山第1町会より参加 匿名

赤山地区で、まだ側溝ができていないところがあります。付帯工事として、もしできればやっていただきたいなという思いです。それから、希望なのですが、もし公園の一角に図書館でもできれば良いかと、希望なのですが。歩いて行ける所なら、この辺遠いからね、図書館が。

川口市技監兼都市計画部長

側溝の整備が十分でないところがあるということですが、それにつきましては、ご要望として承らせていただいて、検討させていただきます。2点目の公園の中に図書館をとということですが、公園については、当然、都市計画公園ということになるのですが、都市計画公園の中に建てられる建物の面積の制限がございまして、図書館の規模にもよりますが、いわゆる公民館の中などにある図書コーナーのようなものであれば、場合によっては検討の余地があるかもしれませんが、大規模な図書館というのは難しいと考えております。ご要望として承っておきます。

赤山中央町会より参加 匿名

この間も、質問したのですが、葬祭場があることによって、みんな上手くいかないのではないかと。さっき、どここの売り上げがどうだから、こっちも可能なんじゃない

いかって、甘いこと言っているけど、それは可能じゃないのではないか。それは葬祭場があるからね、そんなことできないのではないかって思います。人が100万人入るかと言ったら、葬祭場が無ければ入るかもしれないけど。だから、俺が今日聞きに来たのは、同じ説明を聞きに来たのではなくて、葬祭場が無ければ、俺は葬祭場を取り外すか、取り外さないかの意見を聞きたいということだけなのですよ、要するに。別のところに、どうして駄目なのか。計画を立てる上で、なんとというか、予算の問題で一緒にしなければ駄目だとか、何で一緒にしなければならないのか。予算が後回し、葬祭場だけ後回しにできないのかどうか。別の場所に建てるとか。

それから、将来ね、東川口に警察ができるとかあるのですが、葬祭場を警察署にしたらどうかとかね、俺は、そういう構想がある訳ですよ。公園とか言って、子供に対する犯罪だとか、あそここのところの交通が激しいから、あそこに警察署を建てた方がよっぽど良いのではないかというのが、俺の構想の中には有るのですけれど。葬祭場は別の、さっきどなたかが言っていたけれど、誰も来ないような所に建てた方が、かえって地元の人たちが心配せずに、色々なことができるようになって、活性化になるんじゃないかということで、どうも墓地ばかり作って、墓地を作った業者の味方になるような葬祭場を作っているような感じがしてならないんですよ。

だから、俺は今聞きたいのは、葬祭場を切り離してできるか、できないかの、それについての話であって、別々にできないのかどうかってことですよ。無ければ、おそらく全員が、葬祭場付きだったら全員が反対で、無ければ公園だったら良いでしょって、皆さんの考えだと思いますよ。さっきから夢みたいなこと言っているけれど、葬祭場があることによって、色々な、そんなことに支障がきたして、こういうことやりたい、ああいうことやりたい、行こうとも思うけど、そんな葬祭場があるような公園なんかに、おたく行きたいですか、逆に聞きたいけど。

だから、俺が思うにはね、葬祭場を作るのだとしたらね、地下に作ったらどうかと思うんですよ。地下にずっとね。まるまる見えないでしょ。あそこにもどうしても作りたいというなら。

さっきから話を聞いていると、作ることを前提にして、話しているんですよ。俺は、これに対しては、葬祭場っていうものが川口にあったら良いなっていう14万人の署名があったのかも知れないけど、どこにしたら良いかということに対しては、その意見は無いですよ。ここが良いってことで、賛成した人はいないと思いますよ、おそらく、場所については。葬祭場っていうものを作るべきかどうかっていう話はね、14万人の署名を得たからっていうような話をさっきから言っていますけど、そんなのではなくて、場所をどこにしたら良いかって、例えば一は朝日町だとか、二は青木町だとか、三は赤山、どこにしたら良い、どっちにしたら良いのか、そういうような話ではないんですよ。急に俺たちのところに持って来られたから、あんたら何、勝手なこと言っているんだってことに、俺たちからしたら、なってしまうんですよ。そこに対

しても、誰も賛成してないでしょ、結局。あの場所に葬祭場を置くということに対しては、一言も言っていないのだから、誰も、賛成だってことは。葬祭場を作るってことは、良いかもしれないですけども、場所がどこかっていうこと、それは勝手にあんたらが決めたことですよ。私からして見れば、場所についてはもっと検討して欲しい訳ですよ。葬祭場を切り離してね。例えば、葬祭場を切り離した場合、こういうふうになりますよとか、切り離さないのとありますけど、どっちが良いですかとか。そういうふうな話でも良いですよ、例えば。

それで、今さらになって、連絡、皆に対しての説明会、本当は一番最初に、ここに、葬祭場があそこだってことが決まったとしたら、一番最初に地元のところに来るべきですよ。順番がおかしいし、やっぱりそこをね、やっぱり。皆さん黙っているだろうけど、言わなければいけないと思ったから。物の道理として逆のことやっているのですよ。

俺が、どうも、さっきから聞いているとね、もう計画を立てられて、90%あそこに葬祭場と公園ができるってことの形で話をしている、俺たちの賛成か反対かを聞いただけで、聞かなくても、これね、俺たちが反対だと言っても建てられてしまうからね、これね。そういう気持ちでいるのだからね、そういうふうになっているんだからね、さっきから聞くと。だから住民投票かなんかやってくださいよ。

だから、俺はこの話は白紙にして、白紙にしてどうですかという話から始まらないと、納得しないですよ。だけど、なんか、さっきのスライドかなんかで、来年の2月には県庁の方の許可を得て、建物を建てるとかなんとか言って、来年の2月って言ったら、5か月か6か月しかないのに、反対でございます、やれ、これ、今度はどこどここの場所を用意しますなんて、そんなことはやってられないんだから、これは90%くらい建てるつもりで話してるんだなというのが、見え見えなんですよ。建てるにあたっては、葬祭場抜きにしてください。そういうふうなことができるのかどうかってこと。さっきもね、どなたから葬祭場についての話があったけど、俺はまるっきり葬祭場無し、もし葬祭場を作るならこの話は全部反対です。

#### 川口市技監兼都市計画部長

ご質問の趣旨が違ふようなら、もう一度ご質問いただければと思いますが、私の方で理解させていただきましたのは、1点目は、こういった住民の方々への説明会を最初にやるべきではないかという、手続きの仕方についてのご質問。2点目といたしましては、赤山のこの地じゃなくても良いのではないかという、立地についてのご質問。3点目が、施設の配置について、広域的な集客を図ると言っている公園と、どちらかという静的な空間を求める火葬施設について、その配置としておかしいのではないか、マッチしないのではないかということ。4点目として、先程のご質問と同じように、葬祭場無しで公園だけの計画ということができないかという4点だったと思いま

す。

まず、1点目の手続きについてでございますけれども、昨年、赤山歴史自然公園等の検討会を立ち上げました。立ち上げた内容は、先程、説明させていただいたとおりで、農業や都市計画の専門家の方々、議会の各会派の代表の方々、地元の5町会の町会長さんなどに入っただいて、まずは市の計画を作るにあたっての、何も無い中、市がフリーハンドで描く訳にもいきませんので、そういった方々のご意見を伺いながら、提言としてまとめていただきまして、その中で提言としていただいた内容を基に、今回、市の計画として練り直して、地元の皆様方に説明させていただいている、これが、都市計画、市の計画の説明ということであれば、8月28日、30日が一番初めて、例外的に生物調査の時に地権者の土地を跨がなければいけませんので、地権者の方には前もって、こういうことを構想として持っていますということは説明をいたしましたけれども、市の都市計画の計画として説明させていただくのは、8月28日、30日が初めてでございます。今回、8月28日、30日に来られなかった方もいらっしゃるということで、このような場を設けていただいて、説明させていただいているという状況でございます。まず、地元に対して説明があるべきではないかということについては、まさにこの場が、市の都市計画の計画案としてお示しする最初の、8月28日も含めた形で言えば、最初の説明会ということに、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

ちょっと、そこ、いいですか。説明について、もうここに葬祭場ができるよっていう形の説明なのですが、ここに、葬祭場を作りたいのですが、皆さんどうですかっていうことじゃないんです。だから、できてしまっている訳ですよ。要するに、構想としては葬祭場の、市の描いているものが葬祭場付きの公園というものの構想ができてしまっている段階の話なんですよ。どうしようかというようなことではないですよ。それで、俺たちとしては反対だからほかに持って行ってくれっていう話で、やり取りから始まらないとおかしいのではないかとっている訳ですよ。どうですかってことを。そうじゃないでしょということなのです。

川口市技監兼都市計画部長

今回、説明させていただきましたのは、まさにご指摘のとおり、本市としては都市計画の案という形で、この区域について、火葬施設の都市計画を定めたいというように考えております。また、その周囲8.9haの土地について、公園の計画を、都市計画を定めたいということで説明をさせていただいております。それが遅いではないかということであれば、もしそういうご質問であれば、市の方の手続きのやり方は異なるご意見をお持ちだということになります。

2点目の立地についてでございます。立地について、この土地を、なぜこの土地なのかということについては、先程、スライドで説明させていただいたとおり、ここは周辺にかなり広大な土地が残されていて、公園施設と一体的な整備が可能だということが1点。もう一つは、南側の県道足立川口線につきましては、今、2車線ずつ、4車線の道路が整備されていて、火葬施設をもし作る、公園をもし作るということになってくると、新たな通過交通が発生するといったことになってきますけれども、現在、足立川口線については、交通量はさほどでもなく、地域の皆様の生活道路、さらには通学路になっているような道路に、新たな通過交通を発生することなく、計画を実現することが可能であるという、この2点が、この地に計画を検討している点でございます。この点については、市の方で勝手にということではなくて、先程から説明させていただいております、市議会議員の代表の方々や地元の5町会長が入った検討会にて検討して頂いた内容と合致した内容について、説明をさせていただいております。

3点目の配置についてでございます。配置については、まさにご懸念のとおり、昨年の検討会の中でも、町会長、市議会議員の方々の検討の中でも、果たして火葬施設という静的空間を求める火葬施設と、広域的な集客を図りたいと言っている公園の計画がマッチするののかということは、散々議論がありまして、その中でも色々、議論させていただいております。その結果として出てきたのは、大池、池を配することによって、さらには池の中に島を配して、さらには、場合によってはそこに樹木を植えたりして、緩衝樹林と昨年の報告書の中には有りますけれども、樹木を植えたり、池を配することによって、火葬施設については静的空間の確保が可能であるし、公園についてはそれとは離れた利活用ができるのではないかとということでまとめていただきまして、それを基本的な骨格として、今回、市の計画案を策定して、説明させていただいているということでございます。

4点目の葬祭場が無くても、火葬施設が無くても公園計画が成り立つのかということについては、先程、説明させていただいたとおり、両方とも本市としては大切な施設で、今計画しなければいけない施設だと考えておりまして、両方とも必要な施設だと考えておりますけれども、先程の逼迫した市の財政状況を勘案しますと、先程、土地区画整理事業の空いた土地の、わずかに空いた土地の公園整備すら先送りされるような、そういう財政状況を鑑みると、8.9haという公園だけを、この地に実現して欲しいというご要望については、なかなか川口50万の市民の方々のご理解が得られない、さらには市議会の各党派のご理解が得られないのではないかとように思っています。以上4点の説明でございます。

赤山中央町会より参加 匿名

なんでこだわるのですか。何故ね、葬祭場と公園でなければいけないと、市の方で

こだわるのかなと。さっき、俺が言っているように、別にしても良いのではないかな。

川口市技監兼都市計画部長

もちろん、ほかに適切な土地があって、そちらでできるということになれば、もちろん可能だと思いますけど、川口市内、これだけ開発が進められている首都圏近郊の土地でございますので、そういった適地がなかなか見つからないというのが実情かと思えます。

赤山中央町会より参加 匿名

結局、俺達反対なんですけれど、結局、建つのですか。結局、公園は葬祭場付きの公園になってしまうのですか、反対なのですが。それを答えて欲しい。

川口市技監兼都市計画部長

反対の方々のご意見、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

だから、葬祭場が無ければ、これは、まあ、良いのではないかと思うけど、葬祭場があるから反対だってことなんだけど、それが葬祭場付きで建つのですか、公園。結局ね、話しあって、計画がそれではと、変えられないというのでは、何にもならない訳ですよ。話し合うことによって、もう一回検討してみましょと、例えばね、葬祭場をどこか、例えば予算の面である程度、どこかも一回探してみましょとか、そういう話に進まないで、こんな会議開いても、また来ても同じことで、結局、建てるという構想で、皆話をしているから、市の方の、おたくさん達は、俺たちの方はそんなもの困るという話だから、もう本当、話がね、全然、どんなに、こう話聞いても、全然、喰い違っているから、葬祭場に関して、あれだったら反対ですよってことですよ、俺たちは。建ててもらっては困るということ、葬祭場付きだと。そこをどうにかしてくれということ。

赤山中央町会より参加 匿名

金が無いなら、5haくらいで公園にきなさいよ、とりあえず。それから考えなさいよ。それから火葬場はどこか探すと、そういう答えにしてくださいよ。

赤山中央町会より参加 匿名

そういう答えにしてもらわないと、困っちゃうよ。

赤山中央町会より参加 匿名

8.9ha欲しいではなくて。それでも良い、公園はとりあえず。



川口市技監兼都市計画部長

お二方からご質問をいただきましたので、まず、最初の方のご質問から回答いたします。最初の方のご質問は、とにかく反対だということで、反対であっても建つのかということ、極論するとそういうことだと思います。

今後の手続きは、予定ではございますけれども、先程もスライドで説明しましたが、まず、こうして皆様方からのご意見を伺って、当然それを市に持ち帰って、市の内部で検討いたします。ただ、皆様からのご意見を、もちろん非常に重要なご意見としてありますけれども、これを蔑にする気は毛頭ございませんけれども、一方で、市としてはこういった公園の計画、火葬施設の計画というのは、川口市全体として必要な施設だと強く考えてございますので、そこをどういった形で、地元の方々のご意見も踏まえながら、どういった形で進めていくのかといったことは、改めて市の中で検討して、市で揉んだ案として、11月に、今は地元の方々からしかご意見を伺っておりませんので、今度は地元の方々からのご意見を踏まえた形で、川口市全体に対して案をお示して、川口市民全体からご意見を頂戴したいと思います。

その中では、いくら火葬施設を作るのであっても、赤山の地に何百億という金が落ちるのは納得できないといったご意見もあるかもしれませんが、そういったご意見も含めて、ご意見を伺う場を11月に作りたいと考えております。それで、そういった市民全体のご意見を踏まえて、最終的に市として都市計画の案を、最終案を作成して、それでその案でも公園、火葬施設を作るという案であれば、それを改めて1月に、今度は都市計画法に定める法的な手続きとして縦覧という手続きがあるのですが、縦覧にかけさせていただきます。

その場で、これもまた、地元の地権者の方々だけではなくて、地元の地権者、町会の方はもちろんのこと、川口市民全体から、またご意見を頂戴して、そのご意見の内容を都市計画審議会というところにかけて、市が作りたいのだからどんどん作ってしまえということではなくて、都市計画審議会というところの場にかけて、その都市計画審議会というのは、市の計画案と、地元の方々、市民の方々から出てきたご意見をそのまま提示して、今後の市の都市計画としてどうあるべきかというのをご審議いただき、そのご審議いただいた内容で、地元の方々のご意見もあるけれども、やっぱり作っていく必要があるという判断になるのか、地元の方々のご意見もいただいており、必要な施設ではないのではないかという話になるのか、というような答申を承って、最後、市の方で基本的には都市計画審議会の答申に沿って、最終的に計画案のとおりに決定するのかもしれないのか、2月に判断したいというのが今後のスケジュールということでございますので、現段階で決まっていることをただ淡々と説明に来ているだけではないかというようなおっしゃり方をされておりましたが、決してそうではなく、今後の民主的な手続きの中で、どうするかは決まっていくというように認識してございます。

もう1点、お二人目の方からご指摘いただきました、8.9haではなくて、5haにして公園だけをとということについてですけれども、こちらにつきましても、5haだったら火葬施設無しで、ただちに、皆様、川口市民の皆様、さらには市議会の方々のご理解を得られるかと言いますと、先程言いました区画整理事業で、用地が出ていて、その用地の上を整備する費用は数千万円の費用ですが、その数千万円の整備費用ですら、なかなか、財政部局、市議会を通らないような、そういう厳しい、本当に厳しい財政状況の中で、執行させて頂いている身としては、5haの公園だから良いじゃないかと、とりあえず5haで作ればという意見に対して、なかなか、そうですねというようなことを安請け合いできるような状況にはないということをご理解いただければと思います。

赤山中央町会より参加 匿名

前段で買った土地もあるから、緊急のね、これからいつ来るか分からない大災害に向けての避難所として、国から補助をもらいながらやってください。

川口市技監兼都市計画部長

ご意見としては承っておきますが、そのとおりできますと、この場でお約束することは、ちょっとできません。

赤山中央町会より参加 匿名

今、答えていることの全てがクエスチョンであると、議会にかけたり、すべてやりながら進めと、ただしある程度、その方向で進んでいますよという解釈にもとれるけどね。この方向に向かっていますよってね。

川口市技監兼都市計画部長

現時点で、どういう方向性であるかのご質問であれば、現時点ではこれを実現すべく取り組んでいるというのが本市の状況でございますので、そういう点で言えば、そのとおりでございます。

赤山中央町会より参加 匿名

反対派はどうしたら良いか、アドバイスを。15万の署名があれば反対できるのか。

赤山中央町会より参加 匿名

火葬場を作るということが大前提なのですか、前提として。それで、これが鞭とすれば、公園というのは飴の部分ですよ。それで、役所で提案してくれていますね、ドッグランであり、物産館、そういうのは子供だましなんですよ。そんなものはね、今

の時代、誰もね、作ってもらっても、ありがたいと思う人、誰もいませんよ。だって、どこに行ったら、農産物、さっき言いましたけど、売れないですよ。植木だって、花だって売れません。仮にそれができてね、住民の人が、10万でも、20万でも収入になれば良いですよ、なる訳ありません。だから、この餡の部分ね、もっとほかのことで考えられるものありませんかね。例えばね、今までも火葬場を計画して反対されてきた訳ですよ。そうですね。ほかの地域で。

川口市技監兼都市計画部長

回答させていただいてよろしいですか。ほかの地域でどういう状況だったかということですが、先般、約10年前、平成13年に領家の地域で、工場の閉鎖に伴って、大規模な工場跡地が発生すると見込まれたことがありまして、その段階で、市の方で、その用地を取得して、火葬施設を建設しようかという動きが、確かにありました。

そこでの経緯といたしましては、用地を取得するにあたって、当然、用地を取得するということになれば、火葬施設の建設に向けてということになりますので、地元の方々に説明会を市の方で行いまして、火葬施設の建設について、理解を求めていたのですが、その理解を十分に得られる前に、当時の廃業された工場側の方で、土地を別のところへ手放さないとならない期限が来てしまって、その期限が来て、市にはもうこれ以上待てないとなったので、その段階で交渉が打ち切られてしまって、火葬施設の建設についてはそこで無くなってしまったというのが、前回の、10年前の経緯と聞いてございます。

赤山中央町会より参加 匿名

それは、理解が得られればできた訳で、理解が得られないということは、住民の反対があったということですよ。そういうふうに、どこだって、火葬場持ってきて、ああ良いよっていうところは、おそらくないと思いますよ。で、仮にですよ、これ案を消せば、決定ですから、要するに、嫌なものを持ってくるということは、それだけの代償も必要だと思うんですよ、役所の方で。だって、火葬場、一回できれば、もう、途中で、10年で壊しますよとか、20年で、後でほかのもの作りますよとかないでしょ。そうすると、もう、そこに作られた人にとっては、一生、一生じゃないね、次の代までも、末代までも遺産と言いますか、なんかそういうものに、なってしまう訳ですよ。ですから、そういうものを役所が作るということはね、その分を役所も代償を支払わなければいけない、近隣住民に。その代償として、公園を作りますよとか、その、我々に言わせればくだらないですよ、あんな、物産館だとかね、そんなものじゃ、売れやしないのは、分かっているんだから、やる前から。それだったら、もっと大胆な、例えばね、市民税全部免除とか、健康保険全部免除とか、そういうのを住民にしてくださいよ。

赤山中央町会より参加 匿名

小さい、小さい、そんなの駄目だよ。

赤山中央町会より参加 匿名

だって、他の税金じゃ、財務省とか係わってくるでしょ。

赤山中央町会より参加 匿名

原発と同じだよ、これは。

赤山中央町会より参加 匿名

だから、そうじゃなくって、川口市で整理できるもので、市民税だとかね、健康保険だとかね、そういうもの全部免除してくださいよ。そうすれば、嫌なものだって、これだけのことしてもらっているのならしょうがねえや、そう思ってくる人もいますよ。

赤山中央町会より参加 匿名

役所の職員にやらせれば良いんだよ。

赤山中央町会より参加 匿名

だから、これ、本当、案消せば決まってしまうんですよ。

赤山中央町会より参加 匿名

いや、もう決まっているんだよ。

赤山中央町会より参加 匿名

だから、嫌なものを受け入れてもらうってことを、役所の人にも真剣に考えてもらって、俺たちの役目だからね、これを作れば良い、そうじゃなくて、一部聞くところによれば、これが市長の公約だということですよ。だから市長がやっているうちに、何とか作りたいっていう、だから今、非常に切迫している訳ですよ。だから、その、要するに、飴の部分で大胆なものを住民に持ってこない、納得できないと思いますよ。その点、どうですか。そうすれば、泣き泣き、まあしょうがないかということになりますよ。そのくらいの覚悟が無くて、火葬場お願いしますよって持ってきても、誰も良いですよって人いませんよ。

赤山中央町会より参加 匿名

全員が反対ですよ。今、匿名さんが言ったけど、全員が反対ですからね、名前出さ

ないけど。

赤山中央町会より参加 匿名

だから、役所もそういう覚悟でやってもらわないとね、まずいのではないですか。

川口市技監兼都市計画部長

火葬施設の建設にあたって、地元の住民の方々に対して、十分な恩恵が無いと受け入れは難しいと、そういうことかと思えます。(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

はっきり言って、恩恵というより、お金の問題になってしまう訳ですよ。最後に解決するのは、何でもお金の問題ですから、その人達が例えば、住民税いくら払っている、市民税いくら払っている、健康保険何十万払っている、それならば、そういう人達、全部、ただにしてやる、だから火葬場作らせてくれ、それで良いじゃないですか。

赤山中央町会より参加 匿名

小っちえよ。

赤山中央町会より参加 匿名

赤山歴史自然公園っていうのは、埼玉テレビでも言っていますよ。火葬場は、言っていないからね。公約の中で、何度も言っていますよ、赤山自然公園を作るんだと。しかし、その下の段の、火葬場は一切、言っていない。それじゃ、ペテンだよ。

赤山中央町会より参加 匿名

全然、出てないね。そう、ペテン。

赤山中央町会より参加 匿名

要するに、質問としては、公園というのは、火葬場を作るために、これ作るから作らせてくれよみたいに、受ける訳で、こんな物産館とかドッグランとか、そんなものは、遊びに来る人だけのメリットというか、地元の人は何の役にも立たないもので、地元の人に役に立つ、お金でもって、例えばさっき言った、小さいって言われるけど、そういうものをチャラにしてくれるとか、だから我慢してくださいよとか、それくらいのことを覚悟してくださいよ。

赤山中央町会より参加 匿名

もっと、地元の人意見を聞いてくれよってことですよ。

赤山中央町会より参加 匿名

こっちだって、やられるって言えば、それまでなのだから。

赤山中央町会より参加 匿名

協力しないわけじゃないからな。

赤山中央町会より参加 匿名

その辺は、やっぱり考えてもらわないと。

赤山中央町会より参加 匿名

未代までだからね。

赤山中央町会より参加 匿名

赤山って言えば、火葬場が代名詞になってしまうんだから。

赤山中央町会より参加 匿名

赤山って言うよりは、火葬場のあるところだよって。

赤山中央町会より参加 匿名

火葬場の、墓地だよ。みんな、周りに、墓地じゃねえか。

赤山中央町会より参加 匿名

だから、やるに際しても、そういう、くだらねえ物産館とかね、悪いけど、せっかく提案してもらって悪いのだけれど、俺に言わせればくだらねえもんだと思ってますので、もっとメリットをね、何か考えてもらえませんかね。例えば、税金とか、そういうものだったら、みんな払っているんだから、軽減すれば、結構、喜んでもらえるのではないかと思うのだけれど、どうですか。

川口市技監兼都市計画部長

火葬施設の建設に伴って、その見返りとして、市民税、もしくは健康保険税の免除ができないかというご質問だったかと思います。(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

できれば、全部、免除でも良いのだけれど、財務省の係わりもあるだろうし、市独自ではできないだろうし、とりあえず市だけでできるもので良いから。

赤山中央町会より参加 匿名

火葬場ができれば、それくらいの利益は出るよ。大宮のあそこのところは、600人とか、700人って言ったかな。片柳。だから、ちょこちょこっと作って、段々、段々、でかくしていってしまうのだと思うけれど、やがて政令都市でしょ。反対って書いて、帰ってくださいよ。

川口市技監兼都市計画部長

市民税、もしくは健康保険税の免除ができないかということについては、直接担当する部署ではないので、どこまでできるかということについては、即答はできません。ただ、こういったご意見があったということについては、担当部局に話をしたいと思えます。それ以外のメリットを何か考えてくれということですが、こちらといたしましても、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

例えば、一例ですけれど、さっき、図書館とかありましたけれど、私はそうじゃないですよ。例えば、住民側から、ああいうの、こういうのという要望ですよ、それを聞いてもらえるのか、色々なことに対してですよ。

川口市技監兼都市計画部長

住民側からの様々な要望に対して、聞く耳を持つのかということだと思いますが、まず、我々は法律に基づいて、もしくは市議会の議決に基づいて、職務を遂行しているという立場にございますので、そうしたものに背いて、例え、私が個人的に出したいと思っても、それを出せるというものではございません。当たり前ですけれども、市民の皆様方から預かった税金ということになりますので、そういった法令に則って使う必要がありますし、当然、川口市の税金についての使い方ということになれば、市議会にもお諮りしながら、その内容を定めていくことになります。ただ、そういう制約条件はございますけれども、地元の方々からご要望をお聞きすることがあるのかということについて言えば、当然、あり得ますので、もし地元の方々の方で、地域物産館なんてものはいらないので、その代わりにこういう施設にしてほしいというものが、もしあれば、ぜひ、言っていただければと思います。ただ、申し訳ありませんが、それについて、実現するかどうかについても、この場でお約束できるものではなくて、当然、市に持ち帰って、検討させていただいて、ということになるかと思えます。

匿名

資料館ができますか、そこに。

川口市技監兼都市計画部長

現在、市の方で提示させていただいているのは、計画の北側の区域に、赤山城跡との関連性もございますので、赤山城跡の方に足を運んでいただけるような、歴史自然資料館というものを設けてはどうかということと、西側の地区につきましては、地域の振興に活かしていただきたいという思いがありますので、そういった場所で、先程、お叱りを受けましたけれども、我々としては、樹里安にあるような農産物直売所のようなものを含む地域物産館を設ければ、川口PAの方から人が来て、そこで、地域の活性化の手助けになるのではないかと、我々としては思っております、（注：回答途中で質問者が発言）

匿名

要するに、何を飾るのですか。この辺の発掘されたものを飾るのですか。

川口市技監兼都市計画部長

歴史資料館の内容につきましては、首都高のPAから来ていただいた方は、首都圏から来られた方なので、赤山城跡、これだけの偉大な功績を残された伊奈氏の功績について、なかなか理解をされている方が少ないと思うので、まずはそこできちんと紹介をして、その先、赤山城跡に出向いていただけるような、そういったしかけが最優先に必要なだと思って、（注：回答途中で質問者が発言）

匿名

赤山を見に来たって、石碑が建っているだけじゃないですか。あれじゃ、なんか。

川口市技監兼都市計画部長

もちろん、そういったご指摘もあろうかと思えますけれど、赤山城跡の方まで足を運んでいただくという中で、私も何度も歩かせていただきましたけれども、地域の方でオープンガーデンをやられていたり、これだけ地域に緑が残っている場所というのは、首都圏の中ではそうそうございません。PAから数分であれだけの土地に入れるというのは、なかなか無いと思えますので、地域の新しい顔として、この土地をPRしていくにあたって、そういった赤山城跡との関係、さらには欲を言えば、赤山城跡だけでなく、先程申しましたシャトルバスなどを動かして、グリーンセンターに行ってくださいたり、緑化センターに行ってくださいたり、県の花と緑の振興センターでも良いのですが、そういった施設を回遊していただいて、元々、この地の緑というのは首都圏の方々にとっても大事な緑だから守りましょうというのが、安行近郊緑地保全区域の元々の趣旨ですので、そういったことに叶うような、そういったことにきちんと整合する様な、首都圏の方々に来ていただいて、楽しんでもらって、場合によっ



ては、お金も落としてもらおうという仕組みによって地域の緑を守っていくというのが、首都圏の方々にとっても、地域の方々にとっても、望ましいのではないかと考えてございます。

赤山中央町会より参加 匿名

先程、飴という話が出たので、これについて、こんなものは私には全然必要ないので、葬祭場、火葬場については反対いたします。地権者の方がいて、色々と利害関係があると思いますけど、自然公園って言っていますけれど、財政が逼迫している中で、何もそれほどのお金をつけなくても、現に立派な自然公園があるじゃないですか。毎日、散歩している方も多いですよ。私なんかも、直ぐ火葬場ができるっていうことになれば、そばにいて同じ空気を吸う訳で、その精神的な負担というのはどうお考えですか。ダイオキシンの問題とか色々言っていましたけれどね、説明はそれで、私には納得できません。

川口市技監兼都市計画部長

1点目について、川口自然公園も近くにあるし、わざわざ、公園を作る必要はないのではないかと。公園も火葬施設も要らないのではないかとというご質問だと思います。（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

ですからね、市の財政が逼迫して、200億ですか、その金を投資しようとするなら、それをほかに使う方法はいくらだってあると思う。第一は火葬場だと思う、その計画そのものはね。だから、そこに住んでいる人間の、何回も言ってもしょうがないですが、精神的な負担は大きいですよ。只々、14万の署名があるから、あるいは議会を通った案だからとか言って、押し付けるのですか。我慢しろというのですか。

川口市技監兼都市計画部長

ご質問の趣旨が違っていれば、もう一度ご質問いただければと思います。最終的な趣旨としては、火葬施設ができることによって、精神的な負担が生じると、それについてどう考えるのかということかと思えます。精神的負担が全くないと言うつもりは無いのですが、本市といたしましては、先程から申し上げているとおり、本市の中のどこかには、今、川口市民の方々約1日10人、年間で4,200人の方々がお亡くなりになっていて、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

それは、十分承知しています。

川口市技監兼都市計画部長

それであれば、それはご説明させていただく域を超えた、感情的な部分かと思いません。市と致しましては、火葬施設については是非とも必要だと考えておりました、先程、説明いたしましたとおり、立地、配置についても、この地であれば、きちんと計画的に配置することが可能な場所なのではないかと、市としては考えているということであって、そこから先の感情的なところについては説明のしようがありませんので、今後も、ぜひ、ご意見として主張していただいて、最終的には、きちんと民主的な手続きで、どうするかということは決まりますので、きちんとご主張いただくということが大事かと思えます。

赤山中央町会より参加 匿名

見沼じゃ、いかがでしょうか。見沼の田圃はもう原野になっていますよ。見沼三原則も、もう良いでしょ。川口も大分、水も出なくなったのだから。そこらも、ちょっと案として。むしろ安価でできますよ。それで、赤山歴史公園を作って。見沼田圃に武蔵野線の駅を作ってあげてくださいよ。そうすれば、お通夜でもなんでも簡単に来られる。提案します。

川口市技監兼都市計画部長

見沼の田圃に作ってはどうかと、提案としては承りますが、まさに、今おっしゃっていただいたように見沼の三原則というものもありましたので、ご要望として承らせていただきます。

赤山中央町会より参加 匿名

市街化調整区域で、線引き、黒く囲ってあるところが線引きっていうのですよね。その外れたところですよ、ただでさえ、市街化調整区域で、土地の活用とか、土地が安い。火葬場が入ることによって、もっと資産価値が、もっと下がってしまう。周りに、ある程度畑とかね、なんかやっぱり、開発行為、建てたいな、なんかしたいなと思っても、いつも市街化調整区域、法がかかっていて、何も開発ができない。これのね、緩和っていうか、そういうものもちょっと考えてもらえないか。

川口市技監兼都市計画部長

市街化調整区域について、ご意見としては外した方が良いのではないかというご意見でしょうか。

赤山中央町会より参加 匿名

緩和です。

川口市技監兼都市計画部長

市街化調整区域における開発抑制に関する規制の緩和というご意見をいただきました。もちろん、ご意見として承りたいと思いますが、市の考え方といたしましては、この地については、先程の安行緑地保全区域でもございますし、市街化調整区域として、引き続き、なかなか、現在、十分に保全が図られていない実態はあるにせよ、ここで、もう1回きっかけ作りをして、現在の川口の顔というのは、これまで川口の駅前中心に税金を集中的に投資してきたということがございますので、林立するマンションなども含めて、川口の駅周辺が川口のイメージになっていると思いますが、本市といたしましては、今後、この公園を作ることによって、この地の緑を本市の新しい顔としてPRしていくのがこの土地の発展に繋がっていくのではないかと考えておりました。そのためには、確かに皆様にご不便をかけるところはあるかと思っておりますけれども、やはりここは踏ん張って、緑の保全、開発の抑制ということをしていくことが、この地にとって最終的にはメリットになるのではないかと考えてございまして、市街化調整区域を外してしまうと、当然、新たな開発行為が入って来ることになると思うのですが、そういったことになってしまうと、どこにでもあるような場所になってしまうと思うのです。他の場所とは違う、この地の特色を活かした市の新しい顔としてのPRをしていくためには、少なくとも現状においては調整区域をかけたまま、緑の保全ということを頑張っけてやることが、この地の将来的な発展に繋がるのではないかと、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

そうは思いたいのですが、私も植木業をやっておりますが、正直言って、植木業というのは逼迫した状態で、ほとんど、もう、見れば分かると思うのですが、植木の産業としてこの地が成り立っているかなと、そういうところに来ていると思うのです。それで、植木を保全したい、確かにうちも植木を保全したいですよ。保全したいですけど、そこには税金とか、相続とか、色々なしがらみがあって、何もやっぱり、やりたいけれどできない。そういったものが引っかかって来るのですよ。現状としては、樹とかそういったものは保全したいと、うちも畑があって、それを守っていきたい。だけれども、現状は、もうそういう植木産業がこの地域では成り立っていないということが現状だと思います。

川口市技監兼都市計画部長

今のご指摘は、植木産業が成り立っていないから、そういったことは難しいのではないかとのご指摘だと思います。もちろん、厳しい状況を全く理解していない訳ではないのですが、今回、なかなか目に見えるものを見せられない、当然、まだ絵に描いたものでしかないのです、なかなかそういったものを見せられない中で説明させて頂い

ているのですが、本市としては、今回の公園と火葬施設の計画が実現すれば、人の流れが変わってくるのではないかと考えておりました。そうなったときには、市に全部やってくれと言われてもできませんが、やはり皆様方、植木産業の皆様方にも、訪れた方々がぱっと見て、何か違うぞというところを見せていただく必要はありますが、その一つの取組みがオープンガーデンのような取組みだと思っております。そういうような取組みをしていく中で、やっぱりこの地が変わっていくのではないかと、本市としては真剣に考えておりました。この計画が最後のチャンスなのではないかと考えて説明させていただいている次第でございます。それについて、もちろん賛否は色々あると思いますが、市としてはそうした思いだということはご理解いただけたらと思います。

赤山中央町会より参加 匿名

たまに市役所に行くと、市役所は古いですね。昔の市民会館も。あそこに火葬場を建てたら。要は、あそこに火葬場じゃなくて、市役所とか、これ、全然良いですよ。火葬場っていうのは、水があって、公園がなければいけないのですか。別にビルディングの中で良いのではないですか。そうすると、まず、進んだ街になるような気がするのですけれどね。そういう要望です。地震で崩れそうじゃないですか。

川口市技監兼都市計画部長

市役所や市民会館が非常に老朽化していて、何とかしなければいけないということは、まさにおっしゃるとおりでございます。ご存じのとおり、市民会館につきましては、3月11日以降、閉鎖をされていて、利用できない状況でございます。また、市役所につきましても、最低限の補修工事はしておりますけれども、引き続き、何らかの手を入れなければならない状況にあることは、まさにおっしゃるとおりでございます。ただ、その場所に果たして火葬施設が相応しいのかという点については、もちろん、貴重なご提案としては承りますけれども、なかなか難しいものであるのかなと考えてございます。

赤山中央町会より参加 匿名

別に作ったって良いってことですよ、ここに作るってことは。14万人の署名があって、そのビルディングの中に、よっぽど良いですよ。それで、こっちに、自然公園の方に市役所を持ってきて、大きな市役所をどんと持ってきて、みんなでほら、公園なんだし、駐車場も確保できる、高速道路でどこかにすぐに行ける、最高じゃないですか。そういう要望です。

事務局 そろそろ、説明会が始まりまして2時間が経とうとしております。できれば、そ

ろそろ最後の質問をお受けさせていただければありがたいのですが、よろしいでしょうか。

赤山中央町会より参加 匿名

8月30日の最後の時にもお話したと思いますが、緑が残っているというお話が、技監から再三出るのですが、緑が残っているのではなくて、残されたのです。昭和45年の線引きから残ってしまったのです。好きで残している訳じゃないのです。みんな自分のうち、私有地で植木つくっている訳。この間も話したので、だぶるからこれで結構です。それは回答要りません。再三、市の財政が逼迫しているという話が出ていますが、その中で火葬施設というのは儲かるのか。採算性はどうか。さいたま市のデータだと市民の人は1体、7~8,000円で焼いていますよ、火葬は。市外は3万円ちょっとだよ。4,000人焼いて、1年いくら掛るのか。火葬施設がいくら掛るのか知らないけれど、それで採算合うのか。市のやるものは採算度外視っていうけれど、税金でしょ、最終的には。それだけの、何十億って掛けて、年間4,000万か5,000万の焼却代、人間焼くお金だけど、それだったら、前の技監が、うちに来ていみじくもおっしゃったのは、一人4万でも5万でもくれてやった方が、市の財政は逼迫しないって言ったよ、はっきり。市の人も一緒にいたけど。そういう方法もあるよってことは、あの人は利口だね。そんな施設作るのだったら、火葬料として払ってやった方が、よっぽど安いってさ。実際いくら掛るのですか、火葬場作るのに。ある程度数字出ているんでしょ。出ていないのですか。例えばね、一人、市民の場合にはいくらで火葬して、市外の人はいくら。さいたま市のデータだと、だいたい7~8,000円、1万円掛らない。市外はその3倍から4倍もらっているよ。それを例えば作ったとしても、みんな反対だよ、みんな反対だけど、仮に作ったとして、これから公聴会になった時には、その焼き場を作ったことによる経済効果っていうのはやっぱり必要でしょ。市でやるものだからって、赤字垂れ流しは許されないよ、今。川口市の財政はワーストいくつなの、今。実際のところ、夕張と良い勝負じゃないの。鳩ヶ谷がいるか。鳩ヶ谷の上くらいか、川口は。その辺り、財政逼迫、逼迫って再三おっしゃっているけれど、実際、大丈夫なのか、そんなもん作ってしまっ。前回お話した時には、3分の1だか、4分の1が自己資金でしょ、補助金が入ってくるから。そういう話だったよね。ね、川口市技監兼都市計画部長。そういう話だったよね。全体に120億あって、4分の1だか、3分の1の補助金が入って、実際、自己負担は3分の1だかいくらかで良いって言ってたじゃない。

川口市技監兼都市計画部長

申し上げます。

赤山中央町会より参加 匿名

あっ、そう。実際に、その割振りはどうなの。みんなにちょっと教えてあげてよ。

川口市技監兼都市計画部長

只今のご質問は2点ありまして、1点目は火葬施設の利用料金についてどのように考えているのかというのが1点目。(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

採算があうのか。

川口市技監兼都市計画部長

2点目は、火葬施設の建設費用も含めて採算性はどうかということ。

まず、利用料金につきましては、現時点では、まだ、最終的に決められておりません。ご存知のとおり、通常、市で火葬施設を建設した場合には、市内の料金と市外の料金に差を設けるということは、一般的に多くの市で行われておりますので、そういった状況を参考にしながら、今後、運営方法について考えていきたいと考えております。それが利用料金についてでございます。

2点目、火葬施設の建設費用についてでございますけれども、先程、パワーポイントでも説明しましたとおり、現在、まず都市計画決定をいただけるかどうかということで、皆さんにお諮りを申し上げている時点ですし、また、火葬施設については、色々な設計資料は私共のほうで勉強していますが、平米単価や火葬施設の規模についても色々なものがございまして、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

今、考えているもので良いよ。そんなワイドに言わないで。

川口市技監兼都市計画部長

そういった中で、現時点で火葬施設の建設費用がいくらなのかということについては、市の方で持ち合わせた数字はございません。

赤山中央町会より参加 匿名

それで、120億って、アバウトな数字は何なの。

川口市技監兼都市計画部長

120億っていうのは何ですか。

赤山中央町会より参加 匿名

市長さんの話。この神根地区に、ようやく120億のプロジェクトが持ってこられましたって、体育祭の時に、でっかい声で言っていたよ。

川口市技監兼都市計画部長

その120億っていう数字がどこから、どういう形で出たのか、市長がおっしゃっていたのですか。

赤山中央町会より参加 匿名

そうだよ。他でも聞いているから。市会議員の立候補の時に聞いているから。神根地区、神根地区って言うけど、神根地区ってこの赤山じゃないか。神根地区、全員が賛成しているのか。根岸から、在家、道合、神戸、全員が賛成しているのかよ。それもおかしいと思う。それで、神戸には北スポーツセンターのところに、国体用地確保したでしょ。あれ、何に使っているんだよ。年寄りのつまらないものに使っていて、あれで良いのかよ。あそこだって、焼き場だったら、十分、条件揃っているぜ。東川口の、戸塚の環境センターは、今、稼働しているのか、あれは。どうなっている。前回、お話しした中の人にいたけど、あれを利用できないのかって言う人もいたよ。なかなか頭の良い人だなんて思ったけれど。戸塚の環境センター、半分、ぶっ壊して、焼き場にしたら。そういう関係、考えてないの。考えてないよな。ある議員に、この間、言ったの、試算しておいてねって。あと、1週間もしたら、もう1回電話しようと思っているのだけど。戸塚の環境センターは、今、点検中かなんかで、稼働してないでしょ、半分くらい。ああいうものを利用するってことを考えないの。新しいもの、新しいもの、子供みたいにねだってさ。あっちの土地、こっちの土地、手だして。川口はあまりにも不稼働資産が多すぎるでしょ。それ、今、答えられたら時間が無いから、文書にして回してよ、みんなに。ここに来た人、住所書いてあるのだから。それで結構だから。技監、一人に答えさせては申し訳ないから、皆さんで答えてもらって結構だから。

川口市技監兼都市計画部長

何点か、ご質問をいただきましたけれど、まず、神戸の北スポについて、現在つまらないものとして使っているけど、それで良いのか、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

つまらないというか、なんか、遊び半分で、中途半端になっているでしょ。あれ、国体用地の、あれ買ったのではないのか。

川口市技監兼都市計画部長

北スポーツセンターのさらに奥の、現在、スポーツの関係で、グラウンドで使っている部分についてでございますけれど、このグラウンドについては、現在、暫定的な利用ということで、サッカー場、野球場、ターゲットバードゴルフ場などとして使っていただいていると思います。そういった状況については、まず、現状として、そういったご利用いただいておりますので、そういった状況を少しでも利用しやすい形にすべく、担当部局にて取り組むというように聞いております。

赤山中央町会より参加 匿名

焼き場で良いのではないかと。もう、すぐ候補地になるのではないかと。

川口市技監兼都市計画部長

火葬施設について、その場所に持っていけば、それで良いのではないかとということについては、ご要望として承りますけど、じゃあそうしましょうということは、ちょっと、この段階で決めることは難しいと考えます。

赤山中央町会より参加 匿名

それは分かる。

川口市技監兼都市計画部長

2点目、戸塚の環境センターについて、現在、2つ焼却場がございます、その一つについて、現在、稼働を停止して、新しいものに改修するという検討をしている最中ということでございます。それにつきましては、ゴミの焼却場として、引き続き、戸塚の残りの、今、稼働していない半分の土地についても必要なものですから、現在、市としては、当然、ゴミの焼却施設としての利用形態を想定して、検討をしている訳ですけれども、そこに、先程と同じように、火葬施設を作ってはどうかということについては、これはゴミの焼却場の隣に人間の火葬施設があるのはどうかと、個人的にも思いますし、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

一緒にしろとは言わないけど。

川口市技監兼都市計画部長

ただ、ご要望、ご指摘としては、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名



だから、そういうことはできないのかってこと。

川口市技監兼都市計画部長

なかなか、難しいのではないかと、個人的には思いますが、ご要望の一つとして、承って検討していきたいと思います。

赤山中央町会より参加 匿名

今、溶融炉になっているから、ゴミの残渣というか、相当減っているでしょ。それから考えれば、要らないのではないかと思うけど、どうなの、戸塚の環境センターは。朝日だけじゃ処理できないの。

川口市技監兼都市計画部長

ゴミ処理量について、そこまでのデータは手元にはございませんので、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

ちょっと、検討してみなよ。

川口市技監兼都市計画部長

現在、市の方針としては、環境部の方で、朝日、戸塚の二つの環境センターでゴミ処理を回していくというように伺っております、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

青木はどうしたの、青木は。

川口市技監兼都市計画部長

青木については、朝日環境センターが新しくできた時に、閉鎖するというので、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

跡地は何なの。

川口市技監兼都市計画部長

跡地の利用方法については、現時点では定まっていないところでございます。

赤山中央町会より参加 匿名

そこで、良いじゃん。土地、お金要らないよ。

川口市技監兼都市計画部長

青木の焼却施設の跡地に火葬施設を設けてはどうかということについては、（注：回答途中で質問者が発言）

赤山中央町会より参加 匿名

今ね、俺が言いたい真髓は、市で今持っているものを、何で活用しないで、新たなものをどんどんどんどん手を出すのかということ。子供が玩具を欲しがるように、あれが欲しい、これが欲しいっていうことは、辞めなさいってこと。みんなの税金で、14万人の人間だって、署名出した人も税金払っている人でしょ。幽霊じゃないでしょ。そこまで余計な金を払うのではなくて、今あるものを利用しなさいって。する利点。あっちにしなくちゃいけない、こっちにしなくちゃいけないじゃなくて、今あるものをいかに利用するかをみんなで考えてくれって。有能な人が役所にいる訳だから。そう書いてくれれば良いよ。

川口市技監兼都市計画部長

市有地は、当然、この赤山の旧最終処分場用地の2.2haだけではなくて、川口市内に多少なりともございます。それらの土地について、火葬施設を建設してはどうか、この土地ではない別の土地で建設してはどうかというご質問だと思います。それにつきましては、先程、なぜここなのかということについて、2点説明させていただきました。1点は公園と一体的な整備ができること、もう1点については、南側の県道足立川口線からの直接、出入りが可能で、地域の生活道路に、もしくは地域の通学路の交通安全に過大な影響を与えることなく建設が可能であるという、この2点を説明させていただきましたけれども、その他の地区について、そういったような状況が十分に実現できるのかどうかについて、ご意見を承りましたので、改めて検討させていただきたいと思います。

赤山中央町会より参加 匿名

それは、技監、ほら、それはここにしか無い特徴というか、アドバンテージだって言っているだけで、他にもあるでしょ。じゃ、こっちにあって、あっちにないもの、あっちにあって、こっちにないものをちゃんと言わないと。ここは何しろ、みんなから通学路にもならない、生活道路にも入らないとかっていう、一方的なこじつけをみんなするんだよ、そこでやりたいがために。そうじゃないでしょ。他だって、そういう理由はちゃんと付くはずだよ。それはここじゃなきゃならないポイントだけをやっているから、あたかもそれが普通だなんて思うけど、違うんだよ。それは、みんなが

ここでやりたいがためのこじつけなんだよ。それだけは、みんな知っている。知っているでしょ、技監だって。「うん」って言わなければ、駄目だよ。

赤山中央町会より参加 匿名

こじつけるためにはなんだってやるよ、役所は。

赤山中央町会より参加 匿名

こじつけをしちゃ駄目だよってこと。そんな赤山の人は馬鹿じゃないから、はっきり言って。

赤山中央町会より参加 匿名

はっきり言って、この辺の住民をなめてるよ。

赤山中央町会より参加 匿名

だから、そういうことになってしまうんだよ。決して、喧嘩する訳じゃないよ。あんまり、このさ、ここが良いっていう位置付け、理論づけばかりで、みんな武装しているけど、それじゃみんな、うんって言わないよ。そこを理解しなかったら、何回やっても同じだし、前回の4回説明会あったでしょ、あれの回答も必ず出してね、必ず。回答も出さないで公聴会なんて持っていったら、許さないぞ。それは、暴力的なものじゃなくて、人道的に許せない。機会設けるか。ああじゃないだろう。この間の4回の説明会で質問しただろう、みんなが。それについての回答の控えはちゃんとあるんだろうな。紙で返答するとか、なんかあるんだろうな。そこで回答したからって、終わりじゃないんだよ。

川口市技監兼都市計画部長

前回、4回の、緑化センターでのやり取りにつきましては、その場で、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

できれば、広報かわぐちに掲載してくれよ。赤山の人の住民の意見だってことで。

川口市技監兼都市計画部長

その場で回答させていただいた内容が多かったと思います。その内容について、地元の説明会として開催させていただいたものですので、地元の方々、皆さんの了解なく、地元の方々以外の方々に広く公表するというのはどうかと思いますので、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

いや、別に構わないよ。俺は良いけど。

川口市技監兼都市計画部長

御一方のご意見としては承りますが、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

でも、名前出さなければ良い話でしょ。

川口市技監兼都市計画部長

地元の説明会としてやらせていただいたものに対して、地元の方々のご了解なく、広く公表するというのはどうかと思いますので、(注：回答途中で質問者が発言)

赤山中央町会より参加 匿名

みんながOKしたら、OK。でもね、あるところで、私は反対派だって言われたよ。他の地区で。はっきり言われたよ。ということは、ここの情報が流れているんだよ。だから言っているの。分かる。

川口市技監兼都市計画部長

地元の方々から、やりとりを公表して欲しいという形で、5町会の方からご要望があれば、検討させていただきたいと思います。

赤山中央町会より参加 匿名

要望だって。技監、ごめんね。こうやってみんなが集まっているところで言っているから良いのだけど、他の人達はそういう機会ないじゃん。全員のところ、とれないでしょ、OK。そしたら、匿名で良いじゃないか。いついつの説明会のときに、こういう意見が出ました。それを公聴会の時に、広報かわぐちに出せよ。火葬場やりたいのだったら。

赤山中央町会より参加 匿名

だから、14万人が作りたいて言っている人は分かるけど、地元の方は、これだけの人が反対もしてますよっていう、賛成じゃなくて反対の意見も載せなきゃ、アンフェアでしょ。賛成ばかり14万人って言ったって、じゃ地元の人も14万人に入っているのかって言ったらさ、地元の方はどういう気持ちだかってことを、それを市民の人に知らせたって良いじゃない。

川口市技監兼都市計画部長

ただ今のご意見について、みなさんよろしいですか。

赤山中央町会より参加 匿名

構わないよ。名前出さなきゃ良いよ。俺は名前出してもらって結構だよ。俺は承諾しているから。

赤山中央町会より参加 匿名

みんなが良いみたいに聞こえるけど、違うよ。地元の人意見としては、やっぱり、反対。仮にできたとしたって、賛成してできたものじゃない。みんな、反対していながらも、泣き泣き、やらせたって感じだよ。だから、そういうことも市民の人に分かってもらった方が良くない。みんな、俺たち賛成だって、どっかとんでもない人達が賛成だって言ったって、地元の人達の気持ちはどうなのってことになるじゃない。

赤山中央町会より参加 匿名

来たら、市長さん。ここに来て。

川口市技監兼都市計画部長

分かりました。そうしたら、今のようなご提案をいただきましたので、8月末の説明会と今回の説明会も含めて検討させていただくということで、よろしいでしょうか。

赤山中央町会より参加 匿名

構わないよ。地元の意見として、ちゃんと出してくださいよ。

赤山中央町会より参加 匿名

署名の代表者も、今度は連れてこいよ。我々の意見も聞いてもらわなくてはいけないから。代表者に。発起人がいるんだろうから。

赤山中央町会より参加 匿名

市長さん来なよ、そんなやりたいなら。

赤山中央町会より参加 匿名

大体、今日だって、市長は何やっているのだから知らないけどさ、こういうところ、本当は来て、みんなの意見聞かないといけないと思うよ。

川口市技監兼都市計画部長

地元の方々のご意見を市民に広く周知したい、した方が良くというご提案だと思いますので、それについては、検討させていただきたいと思います。ただ、ここに来られている方は、皆様の総意として受け取らせていただきますけれども、それ以外の方々については、地元の説明会だからということでご意見をおっしゃった方もいるかもしれませんので、必要な確認をさせていただいたうえで、対応させていただきたいと思っています。

赤山中央町会より参加 匿名

市長さん、来なさい。技監、市長さん来なさいよ。駄目か。いいよ、あなたの意見で、無理だと思ったら、無理で。そしたら、行くから、家へ、知っているし。14万の署名じゃないけど、100人位の署名を持って。言っておいて、中央町会の匿名って、変なのが行くからって。

事務局 申し訳ありませんが、この辺で説明会の方を終了させていただきたいと思います。

なお、この計画に関して、個人的に内容のご相談とかご質問等がございましたら、お気軽にお声掛けくだされば、お答えしたいと思います。よろしく申し上げます。あと、受付の方で、本日、お名前を記入してない方が、もし、いらっしゃれば記入の方をお願いしたいと思います。それでは、説明会にご参加いただきましてありがとうございました。どうも、ご苦労様でした。